

このたびは、『医療プロフェッショナルワークショップガイド』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

読者の皆様には、ご迷惑をお掛けいたしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

2008年12月2日

正誤表
-----

◆P66 表

評価方法の項目 観察試験 → **観察記録** に訂正

◆P83 解答例

解答9、答えは（反対）のまま。

その理由を、

「口答試験や論述試験は、技能や態度・習慣の領域の評価には適している（30, 31 ページ参照）」



**「口答試験や論述試験は、技能や態度・習慣の領域の評価には適していない（66 ページ参照）」 に訂正**

◆解答10、

答えを （反対） → **（賛成）** に訂正

その理由を、

「口答試験や論述試験は、技能や態度・習慣の領域の評価には適している（30, 31 ページ参照）」



**「口答試験や論述試験は、技能や態度・習慣の領域の評価には適していない（66 ページ参照）」 に訂正**

◆P54・P74・資料編P27

1. 教員（指導医）評価の対象が、教員（指導医）評価の対象になることはない。



**1. 評価の対象が教員(指導医)になることはない。 に訂正**

以上